

1. 目的

循環ワゴン「MIYOBAS」の安定的な運行を維持するため、**リース料の見直し**を行い運行経費の削減を図る。

2. 背景・現状

【背景】

現行車両は、1年の短期リース契約でリース料が高く設定されており、リース後の所有権もリース会社に戻る契約となっているため、**リース契約の見直し（車両入替）**が必要。

【入替にあたっての課題】

- ・ハイエース車両（福祉車両）については人気であるため、確保が難しくメーカー側で車両の登録（販売）時期が不定期である。車両の**登録時期が不明確かつ限定的**。
- ・現行のリース契約は**1年単位**であるため、更新タイミングを逃すと、不要な1年間の再リース（延長）が発生し、余分な経費がかかってしまう。

→登録時期と現リース期間のタイミングが重要である。

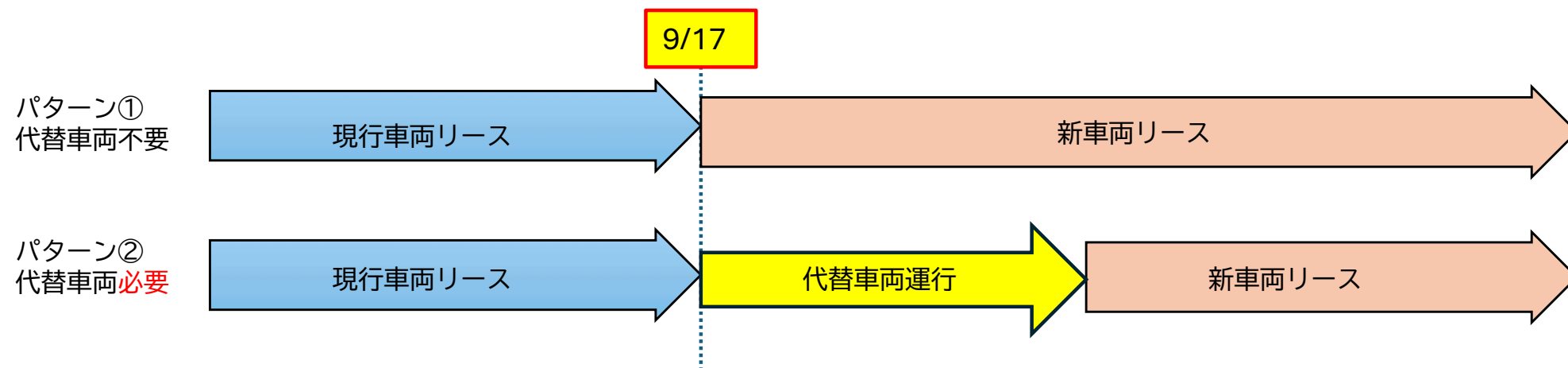
【現在】

・今回、R8.6月中旬より新車両「トヨタ・ハイエース」について、メーカーの新車登録が開始されたため、登録手配（仮）をした。リース料の差は下記の通りである。

4台分	1か月分単価	R8（6か月）	R9	R10	R11	R12	R13（6か月）	計
現行	751,600	4,509,600	9,019,200	9,019,200	9,019,200	9,019,200	4,509,600	45,096,000
新リース	279,500	1,677,000	3,354,000	3,354,000	3,354,000	3,354,000	1,677,000	16,770,000
差額	472,100	2,832,600	5,665,200	5,665,200	5,665,200	5,665,200	2,832,600	28,326,000

3. 新車両登録後の課題

- ・登録時点では**納入時期が不明確**（おおよそ9月末～11月初旬）
- ・現行車両のリース期間が一番早い車両で9/17に切れてしまう。
- ・**新車両の納入が間に合わなかった場合**、現行リース期間満了後～新車両納入期間までの間を補う**代替車両が必要**となる。



納入時期が確定するまで①②両方の可能性を考慮し進めて行く。

4. 代替運行による対応策

公共交通の機能を維持するため、納入が遅延した場合は以下の通り三和富士交通(株)の協力により、暫定的な代替運行を実施する。

(1) 運行協力会社

三和富士交通株式会社

(2) 代替運行の概要

項目	内容
使用車両	タクシー車両（セダン型）
台数	4台（1台は予備車）
定員	4名（運転手除く） ※1便あたりの利用者数平均は2.0人（R8.5） のため、定員4名でもカバーできると考えられる。
運行期間	バス車両の納入までの一時的な措置として、現行の路線・ダイヤを維持（9月末～新車両納入まで）
積み残し対応	予備車1台で対応できる分については実施、それ以上発生した場合は対応不可とする。
車いす等の対応	車いす及びベビーカーについては対応可（折り畳める場合）
車両設備について	×車体ラッピング（「●コース」のプレートを掲示する） ○バスロケーションシステム ○キャッシュレス決済システム ○音声案内システム（確認中） ×乗降カウントシステム

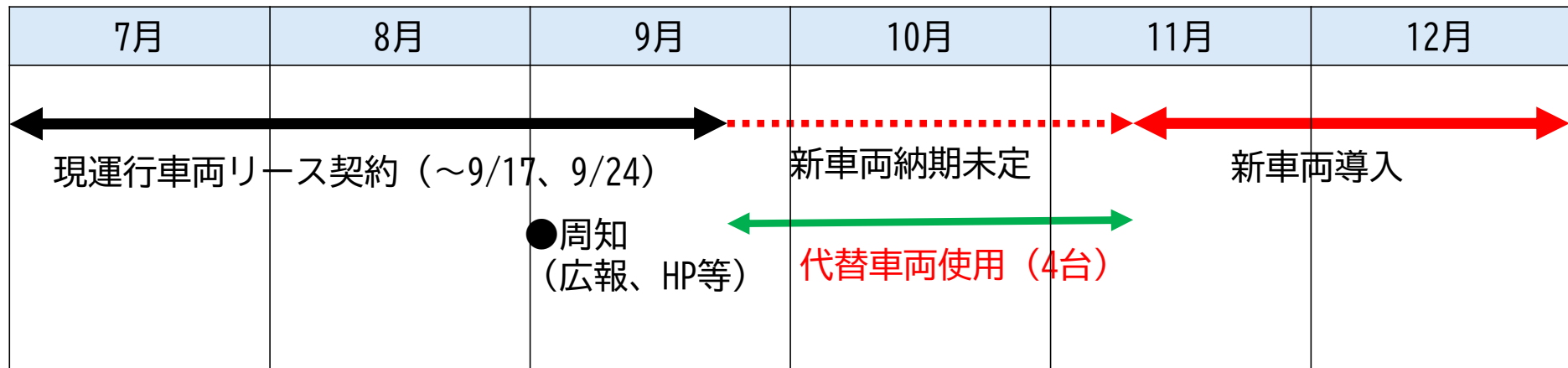


5. 利用者への周知について

代替運行が決定した際には、速やかに利用者への広報を行う。

- バス停および車内への掲示
- 広報みよし、町HPへの掲載
- 公式LINE、Facebook、X等

6. 今後のスケジュール（予定）



7. 新車両について

現運行車両と同様のタイプを予定している。

- 車種：ハイエースウェルキャブ
- 定員：10名（乗客定員8名）
- 車いすリフト付き

